

課題番号 : 26指3

研究課題名 : ベトナム国ハノイにおける慢性腎臓病管理・透析の調査と質の向上に関する研究

主任研究者名 : 日ノ下文彦

分担研究者名 : 多田真奈美

キーワード : 医療・福祉、糖尿病、循環器・高血圧、国際協力

研究成果 :

研究 I. バクマイ病院、地域病院での CKD 管理の改善とハノイにおける CKD の疫学調査、CKD 早期発見方法の確立。

- 1) バクマイ病院腎泌尿器科との協議において、ベトナム全体の CKD 管理の実態、バクマイ病院腎泌尿器科における CKD の実態、問題点は明らかとなった。バクマイ病院はトップリファラル病院であり、CKD を外来にて継続的に管理することより、下位病院で腎不全となった患者の緊急搬送先であることが明確となった。バクマイ病院腎泌尿器科との協議を通じて、CKD の管理を向上し、緊急の透析導入を減らすにはバクマイ病院腎泌尿器科のみを対象とした研究では不十分であり、バクマイ病院の近隣病院及び下位病院の CKD 管理の重要性を認識できた。今後、ハノイ市における糖尿病性腎症の実態の調査、管理の把握、治療の改善を行うにあたり、CKD の外来患者を多く管理していないバクマイ病院ではなく、外来患者を多く持つハノイ市セントポール病院において糖尿病の患者を対象に、微量アルブミン尿測定を含めた糖尿病性腎症患者の実態把握を含めた臨床研究を行う予定で協議を進めていくことに合意した。
- 2) CKD 管理の重要性、慢性糸球体腎炎の精査加療の重要性を、近隣病院、下位病院医療スタッフに認識してもらうために、複数の病院の医師を対象にした講義をバクマイ病院と共同で行い成果を得た。その際にはバクマイ病院医師も講義を行い、ハノイにおける CKD 管理の質の向上のためには、バクマイ病院が中核となって、地域病院を指導するとともに、地域病院と協力して研究活動を推進するために定期的なセミナー、講義の開催の必要性を認識した。
- 3) バクマイ病院腎泌尿器科医長が NCGM での講義を行い、ベトナム、バクマイ病院における CKD の実状を双方で認識できた。バクマイ病院腎泌尿器科医師 4 名、セントポール病院医師 1 名が NCGM, 近隣施設で CKD 管理の研修を受け、透析導入前の CKD 管理の重要性を再確認した。
- 4) バクマイ病院はトップリファラル病院であることから、当初の計画にあったハノイ市における CKD の疫学調査をバクマイ病院を通じて行うことは困難であることが認識され、今後の課題となることが明らかとなった。

研究 II. バクマイ病院、ハノイにおける質の高い血液透析治療の推進。

- 1) 当院から臨床工学技士を含めた医療スタッフがハノイを訪問し、バクマイ病院腎泌尿器科透析室、透析センター、セントポール病院透析室、ハノイ腎臓病学センター透析室、バクザン省病院を訪問し、血液透析の現状を調査した。ハノイ市および近隣県の透析施設においては、医療資源、保険制度の制約からダイアライザーのリユースの問題はあるものの、比較的 HD が円滑に施行されていることを理解した。その反面、トップリファラル病院であるバクマイ病院には保守点検、安全管理の点、透析センターでは血液透析患者の管理という面で、数多くの問題が残されていることが確認されたのは、当初の想定と異なっており、バクマイ病院を核とした研究の推進の前に、バクマイ病院の血液透析の質の向上を進めていくことの重要性を確認した。さらに、ベトナムには臨床工学技士のシステムがなく、日本の臨床工学技士が今後の研究の推進において、どの医療スタッフと一緒に研究をすすめていくかという課題が確認できた。その実態をもとに 2 年度目以降のハノイ市における血液透析の質の向上の研究を行うための基礎調査を行えたのが成果である。
- 2) バクマイ病院医療スタッフを対象に、NCGM の臨床工学技士が日本における血液透析の現状に関する講義を行うとともに、現在のバクマイ病院の血液透析の現状に関する協議を行い、成果を得た。
- 3) バクマイ病院医師 5 名が NCGM 透析室、近隣医療施設で血液透析に関する研修を行い、今後の研究を推進していくための基礎的な認識を共有できた。その一方で、血液透析は、医師、看護師、臨床工学技士が行うチーム医療であるので、臨床工学技士がいないベトナムに対する協力の在り方の問題点が再度認識された。



Subject No. : 26 指 3  
Title : Research on Improvement of CKD and Dialysis Management in Hanoi, Vietnam  
Researchers : Manami Tada  
Key word : Medical Care · Welfare, DM, Hypertension, International Cooperation  
Abstract :

Bach Mai Hospital (BMH) is one of the largest, leading hospitals in Northern Vietnam, focusing on Internal Medicine and medical education, in cooperation with Hanoi Medical University. The Bureau of International Medical Cooperation, Japan (IMCJ) and some of the clinical departments of NCGM have continuously supported BMH to build up a modern medical system and to introduce up-to-date clinical skills. However, there has recently been no collaboration in nephrology between NCGM and BMH. In 2014 the International Society of Nephrology (ISN) Sister Renal Center Program (SRCP) started between Department of Nephrology, NCGM and Department of Nephro-Urology at BMH. Certainly our project will further raise the capacity of the Department of Nephro-Urology at BMH, especially in the fields of management of CKD due to noncommunicable diseases (NCD). A survey of CKD management in Hanoi and a collaborative study on CKD due to NCD will be conducted to establish excellent management for CKD and to further spread exceptional skill to the local hospitals in Northern Vietnam. This project will also aim to establish excellent and safe management for hemodialysis at BMH and to further spread skills to the local dialysis units in Hanoi.

[Achievements]

- \* One nephrologist and one pathologist were dispatched to BMH to give some lectures on the management of CKD and diabetic nephropathy, and to further spread exceptional skill to the local hospitals in Hanoi.
- \* The possibility to promote a collaborative study on the CKD management of diabetic nephropathy was discussed. BMH is a referral hospital and does not accept many outpatients of CKD, so we reached the agreement that our research plan will be conducted at Saint Paul Hospital. Nephrologists from NCGM visited Saint Paul Hospital and the discussion on the contents of research plan was started.
- \* Six nephrologists from BMH visited Department of Nephrology, NCGM and learned about the management or preservative therapy for CKD to establish excellent management for CKD, especially for diabetic nephropathy, at BMH and local hospitals in Northern Vietnam.
- \* One clinical engineer was dispatched to BMH to give a lecture on the method of skillful hemodialysis in Japan.
- \* A survey on method of hemodialysis was conducted at BMH, Saint Paul Hospital and Hanoi Nephrology Center to detect points for improvement.
- \* Six nephrologists from BMH visited Department of Nephrology, NCGM and a local hemodialysis unit to learn the method of skillful hemodialysis in Japan.
- \* Improvement of quality of hemodialysis at hemodialysis units of BMH seems to be important before the method of hemodialysis is spread to other institutions from BMH.

Researchers には、分担研究者を記載する。

Researchers には、分担研究者を記載する。

## 目的

- ベトナムハノイにおける
- I. CKDの適切な管理の推進  
およびCKDの疫学調査、早期発見の推進
  - II. 質の高い安全なHDの推進

## 方法

I-① バクマイ病院、地域病院に対して

CKD患者の保存期管理の実態調査



問題点の洗い出し、本邦でのCKD患者管理との比較、違いや改善点を議論

I-② ハノイ市セントポール病院で

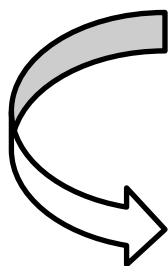


糖尿病性腎症管理の実態把握を含めた臨床研究

II バクマイ病院、近隣透析施設のHD実態調査



HDの改善、技術援助、バクマイ病院スタッフへの医療支援




## 期待される効果

I-① ハノイで増加するCKD患者の管理改善によるCKD合併症の削減、末期腎不全患者死亡率の減少、透析患者数減少による医療費の削減

I-② 医療資源の乏しい途上国におけるCKDの実態把握と早期発見モデルの確立

II ハノイのHDの質・安全の向上、HD患者のQOLの向上、他地域への適切なHDの普及

# 平成26年度実施内容

I-① バクマイ病院腎泌尿器科、ハノイ市におけるCKD管理の実態調査と協議 

バクマイ病院は緊急透析導入が主体であり、CKD管理を推進の臨床研究の場としては不十分


I-② ハノイ市セントポール病院における糖尿病性腎症の実態把握の臨床研究を推進することに決定

I バクマイ病院でのCKD管理、慢性糸球体腎炎の診断・治療の講義、バクマイ病院医師のNCGMでのCKD管理の研修を実施

II バクマイ病院、セントポール病院、ハノイ腎臓病学センター、バクザン省病院のHD実態調査をNCGM医師、臨床工学技士が実施

- ・ 医療資源、保険制度の制約から透析膜のリユースの問題があるものの、比較的円滑にHDは施行されている
- ・ 保守点検、安全管理の面からバクマイ病院に課題が多い
- ・ ベトナムでは臨床工学技士の制度がなく、協力対象の医療スタッフを誰にするかも課題

バクマイ病院がHDの技術を近隣施設へ均てん化するより バクマイ病院のHDの質の向上が課題、

 バクマイ病院腎泌尿器科医師がNCGM透析室で研修、透析はチーム医療、保守管理、安全管理が必要なので、今後の研究のありかたを検討

## 目的

- I. CKDの適切な管理の推進  
およびCKDの疫学調査、早期発見の推進
- II. 質の高い安全なHDの推進

## 方法

I-① バクマイ病院、地域病院に対して

CKD患者の保存期管理の実態調査



問題点の洗い出し、本邦でのCKD患者管理との比較、違いや改善点を議論

I-② ハノイ市セントポール病院で

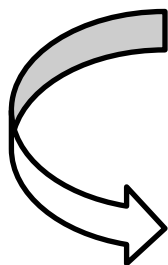


糖尿病性腎症管理の実態把握を含めた臨床研究

II バクマイ病院、近隣透析施設のHD実態調査



HDの改善、技術援助、バクマイ病院スタッフへの医療支援




## 期待される効果

I-① ハノイで増加するCKD患者の管理改善によるCKD合併症の削減、末期腎不全患者死亡率の減少、透析患者数減少による医療費の削減

I-② 医療資源の乏しい途上国におけるCKDの実態把握と早期発見モデルの確立

II ハノイのHDの質・安全の向上、HD患者のQOLの向上、他地域への適切なHDの普及

# 平成26年度実施内容

I-① バクマイ病院腎泌尿器科、ハノイ市におけるCKD管理の実態調査と協議 

バクマイ病院は緊急透析導入が主体であり、CKD管理を推進の臨床研究の場としては不十分


I-② ハノイ市セントポール病院における糖尿病性腎症の実態把握の臨床研究を推進することに決定、セントポール病院における診療、研究受け入れの体制を確認、協議を開始

バクマイ病院腎泌尿器科医師がNCGMで研修  
バクマイ病院、ハノイにおけるCKD管理の実態をさらに把握した

II バクマイ病院、セントポール病院、ハノイ腎臓病学センター、バクザン省病院のHD実態調査をNCGM医師、臨床工学技士が実施

- ・ 医療資源、保険制度の制約から透析膜のリユースの問題があるものの、比較的円滑にHDは施行されている
- ・ 保守点検、安全管理の面からバクマイ病院に課題が多い
- ・ ベトナムでは臨床工学技士の制度がなく、協力対象の医療スタッフを誰にするかも課題

バクマイ病院がHDの技術を近隣施設へ均てん化するより バクマイ病院のHDの質の向上が課題、

 バクマイ病院腎泌尿器科医師がNCGM透析室で研修、透析はチーム医療、保守管理、安全管理が必要なので、今後の研究のありかたを検討



## 研究発表及び特許取得報告について

課題番号： 26指3

研究課題名： ベトナム国ハノイにおける慢性腎臓病管理・透析の調査と質の向上に関する研究

主任研究者名： 目ノ下文彦

### 論文発表

論文タイトル	著者	掲載誌	掲載号	年
該当なし				

### 学会発表

タイトル	発表者	学会名	場所	年月
該当なし				

### その他発表(雑誌、テレビ、ラジオ等)

タイトル	発表者	発表先	場所	年月日
該当なし				

特許取得状況について ※出願申請中のものは( )記載のこと。

発明名称	登録番号	特許権者(申請者) (共願は全記載)	登録日(申請日)	出願国
該当なし				

※該当がない項目の欄には「該当なし」と記載のこと。

※主任研究者が班全員分の内容を記載のこ